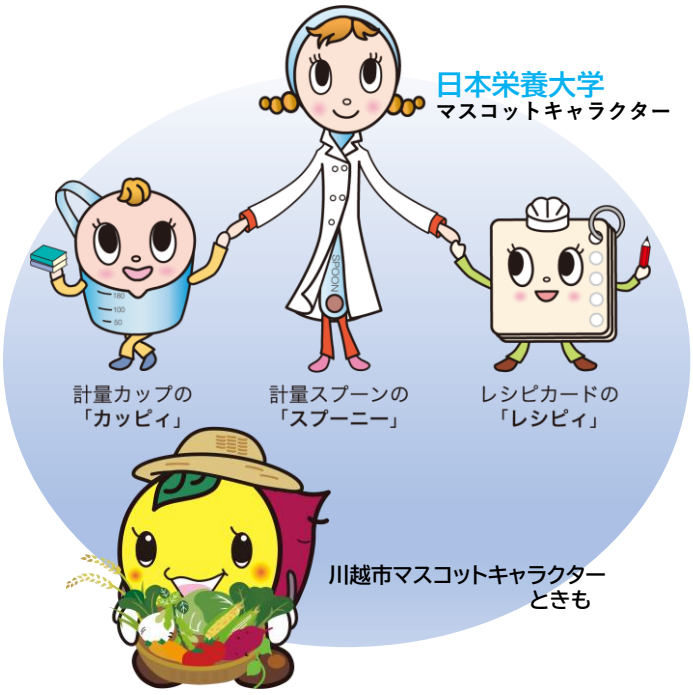
令和８年度 川越大学間連携講座
日本栄養大学 共催事業

「いざというときのために」
～無理なくできる家庭備蓄と簡単調理～





日時 令和9年2月16日(火曜日) [※雨天決行]
午前10時～午後13時30分（受付:9:30～）※全1回講座

会場 日本栄養大学
坂戸キャンパス
交通:東武東上線 若葉駅
東口徒歩3分
※車での御来場は御遠慮ください。

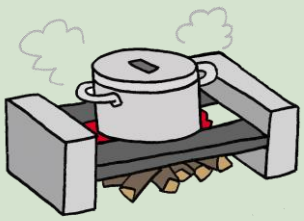
参加費 500円
（食材料費印刷費などの実費）
※当日受付にてお支払い
いただきます。

電子申請はこちら

【お申込み】
令和８年１２月２８日（月）までに、電子申請又はＦＡＸ（裏面使用）で受け付けます。
＊受講決定の連絡は、締切後、令和9年1月22日(金)頃までに、Eメールで送付する予定です。
定　員：３０人　（定員を超えた場合は抽選となります）
対　象：どなたでも可（中学生以下は保護者同伴で御参加ください）

問い合わせ:川越市文化スポーツ部文化芸術振興課　生涯学習推進担当
電話:049-224-6157　FAX:049-224-8712
E-mail:bunkashinko★city.kawagoe.lg.jp(@部分を★と表示しています)

【講義概要】

日 程	内 容	講 師
2月16日(火) 10時～13時30分 (途中休憩あり) 講義と 実習(※) [※雨天決行] 野外での防災食調理実習を予定してますが悪天候の場合は、屋内で実習を実施します。	**「いざという時のために」** **～無理なくできる食料備蓄と簡単調理～** **災害時における防災食(調理実習)及び試食** いつ起こるかわからない、もしもの災害…。 ご自宅に「食」の備えはありますか？ もしもの災害に備えて、何をどのくらい準備すればいいの？ 備蓄食品の上手な活用法は？ など、無理なくできる備蓄について伝授します。 大学に設置された「防災ベンチ(釜戸ベンチ）」を使用して、栄養バランスを考慮したおいしい簡単災害食を、日本栄養大学の学生と一緒に調理します。 ＊実習後昼食としてお召し上がりいただきます。 【持ち物】飲料(水分補給用)、帽子(屋外作業用) 	日本栄養大学 公衆栄養学研究室 **久保　彰子　准教授**  **■論文：** 管理栄養士養成課程における災害時の栄養・食生活支援を学修するための教材開発及び活用可能性の検討（日本災害食学会誌1(12),25-34頁） 大学生における家庭備蓄の現状と対策～教育的アプローチと環境的アプローチ～（日本災害食学会誌1(11),39-46頁） 埼玉県C市食生活改善推進員を対象とした家庭備蓄の啓発プログラム実施前後の変化（日本災害食学会誌1(11) 31-37頁） **■著書：** 災害食の事典（朝倉書店） 大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドライン～その時、自治体職員は何をするか～災害時使えるアクションカード（例）付き（日本公衆衛生協会）

川越大学間連携講座とは？:「もっと勉強したい」「大学の授業を受けてみたい」という市民の皆さまの生涯学習への意欲を応援するために、川越市では東洋大学、東京国際大学、東邦音楽大学、尚美学園大学及び日本栄養大学と連携して開催しています。

川越市は、「SDGs日本モデル」宣言に賛同しています。また、埼玉県SDGs官民連携プラットフォームに入会しています。

川越市文化芸術振興課　生涯学習推進担当宛
FAX　049－224－8712

FAX送信票

川越大学間連携講座　日本栄養大学共催事業に申し込みます。

ふりがな	
氏　名	
住　所	〒
電話番号	
Eメールアドレス	@

・電話番号は日中つながる番号（携帯電話等）を記載してください。